



「岡山大学くらしき会」会誌4号

平成22年12月20日発行

農業生物研究所・資源生物科学研究所・資源植物科学研究所

本号では、岡山大学くらしき会からのお知らせと、岡山大学資源植物科学研究所の最新のニュース&トピックスを会員の皆様にお届けします。

岡山大学くらしき会からのお知らせ

くらしき会第7回総会・講演会のご案内

場所：倉敷アイビースクエア

(コーラルおよびアイボリー)

日時：平成23年2月19日(土) 15時～

行事

1. 総会 (15:00-15:30)

2. 講演会 (15:30-16:20)

『倉敷、そして私の歩んだ道』

杭田 要氏

(財)少林寺拳法連盟中国室 室長

株式会社神戸グリーン 顧問

3. 懇親会 (16:30-18:30)

懇親会費 7000円

(1/21までにお振込みください)

「倉敷アイビースクエア」

倉敷市本町7-2 TEL: (086) 422-0011(代)

<http://www.ivysquare.co.jp/access.html>



くらしき会第5回総会のご報告

平成21年2月28日14時より岡山大学資源生物科学研究所・大会議室で開催されました。第5期(2007年1月～2008年12月)の事業、会計報告の後、第6期(2009年1月～2010年12月)の事業計画および予算案の説明があり、いずれも承認されました。蜂谷会長の挨拶に続き、所長の村田稔先生から研究所の現状をご紹介いただきました。引き続き、且原真木先生(研究所准教授・屋上緑化プロジェクトリーダー)による講演「屋上緑化プロジェクトの紹介」が行われました。講演後、屋上緑化の現地見学が行われました。その後、会場を倉敷国際ホテルに移し、懇親会が和やかに開かれました。



蜂谷会長



総会の様子



講師の且原先生



懇親会参加の皆様

資源植物科学研究所へ改組・改称しました

平成21年、文部科学大臣による新しい認定制度により、本研究所は“植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点”として認定され、平成22年から「資源植物科学研究所」と改組・改称いたしました。4月1日の開所式には、伊東香織倉敷市長、大原謙一郎大原美術館理事長、千葉喬三岡山大学学長にご列席頂きました。新生「植物研」には植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと5つの研究ユニットが設置され、国内外の研究者と連携し、劣悪環境でも生育可能な作物の創出に向けた基礎研究を推進していくこととなりました。

「農研」・「資生研」に馴染んだ皆様も「植物研」をよろしくお願ひ申し上げます。



開所式の一コマ(千葉学長・村田所長)

くらしき会からのお願い

正会員の皆様には会費納入のための振替用紙を同封いたしましたので2011年、2012年度分2,000円の送金をお願いいたします。なお、特別会員(旧事務系職員・旧技術系職員)の皆様は、同窓会の年会費は不要です。

会員の皆様のエピソード、近況報告、職場の紹介を募集しております。是非ご協力下さい。また、住所・勤務先等の変更がありましたら事務局へハガキあるいは下記のメールでお知らせください。

E-mail

kurashiki1999@server.rib.okayama-u.ac.jp

■岡山大学くらしき会のこれまでの主な活動

同窓会では隔年で総会・講演会を開催しています。また、所内の大学院生で組織されている院生会活動への援助なども行っています。

- ◇同窓会設立・記念講演会
1999年1月16日（於 倉敷市民会館）
- ◇岡山大学くらしき会会誌1号(会員名簿)発行
2000年3月
- ◇第2回総会
2001年2月24日（於 倉敷国際ホテル）
- ◇第3回総会・講演会
2003年3月15日（於 ホテル倉敷）
- ◇第4回総会・講演会（研究所90周年）
2004年12月17日（於 倉敷市立美術館）
- ◇岡山大学くらしき会会誌2号発行
2007年1月
- ◇第5回総会・講演会
2007年2月24日（於資源生物科学研究所・大会議室）
- ◇岡山大学くらしき会ホームページ立ち上げ
2007年3月
- ◇岡山大学くらしき会会誌3号発行
2009年1月
- ◇第6回総会・講演会
2009年2月28日（於資源生物科学研究所・大会議室）



研究所の正面（大蘇鉄・元気です!）

■研究所の近況と大学院生

植物研には、改組により植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと5つの研究ユニット(4項スタッフリストをご参照下さい)が設置され、約100名の研究者・事務職員と、29名(平成22年度)の大学院生・留学生が所属しています。大学院は自然科学研究科バイオサイエンス専攻(博士後期課程)、生物資源科学専攻(博士前期課程)に属しています。博士前期課程には、岡山大学以外の中国四国地方の大学出身者が大部分を占めています。博士後期課程の学生は中国やタイ、フィリピンなどからの留学生が多くなっています。

博士前期課程を修了後は多くが民間企業へと就職します。博士後期課程修了後は主に研究機関に属し、研究を続けていく方が多いです。



■研究所所長のご紹介



研究所の所長に村田稔先生が再選されました(平成22年4月)。村田先生は植物分子遺伝学が専門で、核機能分子解析Gのグループリーダーとしても活躍されています。

■武田先生が日本学士院賞を受賞



研究所元所長・武田和義先生が(現岡山大学名誉教授・研究所特任教授)「イネ科作物の遺伝資源学の確立とその実証的貢献」の研究業績により、平成21年度日本学士院賞を受賞されました。

■研究所のイベント情報

植物研では、地域社会へ貢献するため、一般公開、公開講座などの活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしております。

研究所公開

研究所の一般公開は、毎回多数(400名程度)の市民に参加いただき、好評です。お近くの方は、次回(5月の予定)も誘い合わせの上ご参加ください。



公開講座

平成21年度は「ストレスと戦う作物の能力と生物多様性」、22年は「生物多様性」が開講されました。

高校生教育プログラム



平成21年度は8/7にサイエンス塾 in 倉敷「目指せ!サイエンス名探偵」、22年度は8/10にひらめき☆ときめきサイエンス-先端植物バイオ入門-を開講しました。

シンポジウム

第26回資源生物科学国際シンポジウム「宇宙植物科学研究最前線-宇宙での生活を目指して-」が平成21年11月28日に津島キャンパスで開催されました。第27回は「第3回植物ストレス科学研究シンポジウム」との共催で平成23年3月7日-8日に開催予定です。



宇宙ビール

図書館分館企画展

附属図書館植物研分館では、第2回企画展「貴重書で見る江戸・明治の食」(2010/3.1-5/15)、第3回企画展「貴重書で見る東西の植物画 多年草編」(2010.7/20-9/30)を開催いたしました。





2010年1月4日(新年互礼会時の集合写真)

■ 研究所の国際交流

IPSR Kenya Day2010

植物研ではアジア・アフリカ学術基盤形成事業「東アフリカにおける作物ストレス科学研究ネットワーク拠点形成と次世代作物の開発利用」を進めています。この度、ケニアのジョモケニアツ農工大学から2名の研究者を招聘しました。2010年10月5日にはKenya Dayを開催し、研究会・交流会が開催されました。11月には植物研の6名の研究者がケニアを訪問し、ジョモケニアツ農工大学でシンポジウムを開催しました。あわせてケニア農業研究所を訪問し研究交流会を行いました。



全南大学校バイオエネルギー研究所と交流協定

韓国の全南大学校バイオエネルギー研究所(旧:農業植物ストレス研究センター)との交流協定を2010年10月5日に更新いたしました。先方からBae 所長一行をお迎えして調印式、記念セミナーが行われました。



■ 植物ストレス科学研究ネットワークのご紹介

大学などで植物科学の研究に携わる研究者を対象に「植物ストレス科学研究ネットワーク(PSSnet)」を立ち上げ、HPの公開、メールマガジンの発行、シンポジウムの開催などの活動を行っています。第3回植物ストレス科学研究シンポジウムは2011年3月7~8日倉敷芸文館で開催される予定です。なお、本ネットワークの詳細は下記ホームページでご覧いただけます。



HP:<http://www.pssnet.org/>

■ ホームページのご案内

同窓会のホームページを公開しています

くらしき会の情報だけでなく、会員のページや関連する写真のページもご覧頂けます。是非アクセスしてください。皆様からの情報提供をお待ちしております。

HP:<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/kurashiki/>

研究所ホームページがリニューアルしました!

研究成果やプレスリリースなどリアルタイムでご覧頂けます。また、研究スタッフ紹介やリソースに関する情報も充実しアクセスしやすくなりました。さらに、地域貢献や共同利用などに関する項目なども追加されました。是非、ご覧ください。



HP:<http://www.rib.okayama-u.ac.jp>

■ 院生会の紹介

研究所は学生数がそれほど多くないため各研究室の学生同士の交流が活発です。院生会は、本研究所で研究している大学院生が主体となって活動している組織です。最近では、院生会が修士論文の中間発表会を主催して、毎回活発な討論がなされています。

院生会の主な行事

- ◇ 新入生歓迎コンパ (4月)
- ◇ 自己紹介アルバムの作成 (6月)
- ◇ 修士論文中間発表会の運営 (12月)
- ◇ 忘年会(新年会)(12月 or 1月)
- ◇ 追いコン (2月)
- ◇ 卒業式 (3月)



岡大では、卒業生や退職職員の皆様に、Gmailアドレス(生涯メールアドレス)サービスを提供しています。ご興味のある方は、以下のサイトをご覧ください。
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cc/gmail/index.html>

■ 現在の研究所教員・技術系職員リスト

(2010年4月1日現在・敬称略)

植物ストレス科学共同研究コア

大気環境ストレスユニット

光環境適応研究グループ

(坂本 亘 教授・松島 良 助教)

細胞分子生化学グループ

(今野 晴義 准教授・杉本 学 准教授)

環境応答機構研究グループ

(平山 隆志 教授・森 泉 助教)

土壌環境ストレスユニット

植物ストレス学グループ

(馬 建鋒 教授・山地 直樹 助教)

植物成長制御グループ

(山本 洋子 教授・佐々木 孝行 助教)

分子生理機能解析グループ

(且原 真木 准教授・柴坂 三根夫 助教)

環境生物ストレスユニット

植物・微生物相互作用グループ

(鈴木 信弘 教授・近藤 秀樹 助教・谷 明生 助教)

環境植物微生物学グループ

大麦/野生植物資源研究センター

遺伝資源ユニット

大麦グループ

(佐藤 和広 教授・最相 大輔 助教・吉田 英哉 助教)

遺伝資源機能解析グループ

(武田 真 教授・漆川 直希 助教)

野生植物グループ

(榎本 敬 准教授・園田 昌司 准教授・山下 純 助教)

ゲノム育種ユニット

核機能分子解析グループ

(村田 稔 教授・長岐 清孝 准教授・小倉 豊 助手)

ゲノム制御グループ

(前川 雅彦 教授・力石 和英 助教・宇都木 繁子 助教)

生命環境適応グループ

(江崎 文一 准教授・田中丸 重美 准教授)

次世代作物共同研究コア

萌芽的・学際的新展開グループ

国際的新展開グループ

技術部

技術職員

力石 早苗 (班長)・石井 誠・丸山 和之・松浦 恭和・柏原 壺成・泉 洋平・西村 秀希・加藤 裕介・山下 優子



鶴形山からの美観地区方面
(研究所の場所がわかりますか?)

■ 教員・技術系職員の動向

退職:平成 20 年度には 作物種子研究グループの野田先生、山崎先生、環境昆虫機能グループの積木先生、生命環境適応グループ中島先生、大麦グループの武田(和義)先生が定年退職されました。平成 21 年度には微生物機能開発グループの金原先生が静岡大学へ転出されました。

着任:平成 20 年度は遺伝資源機能解析グループに漆川先生が助教、山下さんが技術職員として、平成 21 年度には環境応答機構研究グループに平山先生が教授として着任されました。



研究所・北門方面

(左は図書史料館、右は2号館、正面奥は市立美術館)

(写真の一部は研究所 HP より
転載させていただきました)



岡山大学くらしき会

「岡山大学くらしき会」
会報 第4号
平成 22 年 12 月発行

発行所

岡山大学くらしき会
岡山大学資源植物
科学研究所内
〒710-0046
倉敷市中央 2-20-1
tel.086-424-1661
fax.086-434-1249



郵便振替 01350-5-16121

印刷 図書館カラーコピー機